

集落活動センター そばの里立川（大豊町）

拠点施設
情報

立川公民館
（長岡郡大豊町立川下名493）
0887-72-0450



○ 主な活動内容

〈立川番所を活用したイベント開催〉

- 春の御殿祭り
お茶の先生を招待し、琴やピアノの演奏を聴きながら、抹茶を堪能するイベント。
- 立川御殿音楽祭
「歴史×音楽×地域の融合」をコンセプトに、大豊町出身のマリンバ演奏者や宿毛市の演奏家を招待し、参加者が生演奏やダンスを楽しむことができます。



〈県内大学との連携〉

- おおとよ探検隊との連携
高知県立大学の学生で組織されるおおとよ探検隊との連携により、移住前から立川地区の暮らしを想像できる「集落の教科書」が完成しました。
- 高知大学
留学生を対象に、茶摘みや餅つきイベントを通して、日本文化の体験交流を行っています。



〈防災活動〉

- 防災チェックリストの配布
南海トラフ地震の発生に備え、南海トラフ地震の説明会の開催や、耐震補強、備蓄品の確保状況を確認するための「防災チェックリスト」を配布し、各家庭で日頃から地震に備える環境作りを推進しています。



開設時期

令和元年10月

運営主体

立川地区活性化推進委員会

構成集落

立川三谷、中央、刈屋、中和、仁尾ヶ内

人口・世帯数

71人・57世帯（R8.2.28時点）

地域の自慢

大豊町立川地区は、町の北西部に位置し、愛媛県・徳島県と接する地域です。参勤交代道や、国の重要文化財指定の「旧立川番所書院」があり、歴史を感じられる地区です。また、極太切りの十割そばで、ボソボソ感がクセになる「立川そば」が名物です。

○ 地域のこれから

「旧立川番所書院」を初めとする地域資源を有効活用し、交流人口の拡大にもチャレンジします。

さらに、支障木伐採や四季折々の花の植樹作業等、地区の環境整備については、『営みが実感できる里づくり』をテーマに、「立川ならでは」の営みを次世代に繋ぐため、力を合わせて、できることから積極的に取り組んでいきたいと考えています。

○ 活動への思い

高齢化率は85%を超え、毎年5～6名のペースで減少し、現在では70名になりました。このような厳しい状況下では、集落の教科書等を活用して移住者を受け入れ、新たな地域づくりをしていく必要があります。移住者が安心して暮らしていただける地域づくりのために、文化や生活の知恵をデータ化していくことなど、新たな取り組みも考えています。 会長 吉川 定雄

